

コープ災害ボランティアネットワークニュース

第79号

発行 東京都生活協同組合連合会
コープ災害ボランティア
ネットワーク幹事会
2015年7月
Tel. 03-6844-3563

第13回コープ災害ボランティアネットワーク総会を開催しました。

7月4日(土)第13回コープ災害ボランティアネットワーク総会が中野サンプラザにおいて開催され、会員46名(書面委任127名)が出席しました。



伊野瀬会長

開会に際し、伊野瀬会長理事より、「今年は、終戦・被爆70年、阪神淡路大震災から20年、そして東日本大震災・原発事故から5年目と節目の年です。東京都生協連では、2014年度、さまざまな活動をされたCO災ボを高く評価し、第65回総会の議案書のなかでその活動を紹介しています。

また、14回の養成講座でこれまで445名の会員がボランティア組織として継続しているのは大変めずらしいことです。やや風化しかけていますが、今年度も東日本大震災、特に福島を中心にして地域コミュニティの復興まで見届けたいと考えています。東京都生協連の中期計画にある“住みやすいまちづくりに大切な地域における防災・減災”を、一つの大きなテーマとして取り組むうえでもCO災ボに期待し、東京都生協連も一緒にすすめてまいります。」と挨拶されました。

■第4号議案で承認された新年度幹事(9名)

大矢憲二さん(コープみらい) 【代表幹事】

松本 淳さん(東都生協) 【副代表幹事】

平野浩孝さん(パルシステム東京) ☆

倉田充也さん(生活クラブ・東京)

野崎雅利さん(生活クラブ事業連合会)

小泉民子さん(コープみらい)

宮本陽子さん(コープみらい)

中村佳子さん(パルシステム東京)

西 裕子さん(東都生協)

※総会後の第1回幹事会で代表、副代表幹事が互選されました。

(☆は新任です。)

◆第1号議案

2014年度活動報告承認の件

◆第2号議案

2015年度活動計画承認の件

◆第3号議案

会則および総会運営規程の一部変更の件

◆第4号議案

2015年度幹事の選出の件



大矢代表幹事と議長の西幹事



司会の松本幹事

【提案・審議】

第1号～第3号議案まで、大矢代表幹事から議案提案されました。質疑応答の後、議案は拍手ですべて可決承認されました。



倉田副代表幹事

倉田副代表幹事から、「それぞれが地域の中で活動していくことの一助になるというゆるやかなネットワークですが、いざという時には頼りになるつながりです。事務局からいろいろな情報を流してもらうことで、地域での活動に活かしてください。」と、閉会のあいさつがありました。



2015年度幹事のみなさん

活動交流会

総会後の活動交流会では、5名の会員の活動報告を行い、その後、グループで活動交流を行いました。事例を共有することから、気づきやヒントをつかんで今後の活動に活かすことを、会員ひとりひとりが心に刻みました。

被災者交流サロン「来らっせしらさぎ」の運営協力（中野区）
近藤宣子さん（7期 コープみらい）

今、このサロンは避難している方々がお国ことばで話せる場、近所の方も気軽に立ち寄ることのできる場になっています。笑顔で挨拶し自分は何しに来たのかを知らせることが大切です。おしゃべりし、寄り添うことが大事。自治会とのつながりも大切にしています。



地域でまちづくりと子育てに仲間と取り組んでいます。子育て向けのイベントの企画や子育てマップ作りなどを行っています。防災の特集を組んで、子どものいる家庭に役立つ情報を盛り込んだ情報紙「ここまち」を発行しました。

地域の子育て支援団体のフリーペーパーの防災特集（杉並区） 伊藤尚子さん（13期 コープみらい）

地域の防災・減災活動への参加のきっかけ（世田谷区）
中村昌史さん（13期 東都生協）

世田谷区でユニバーサルデザインの学習会に参加しました。誰にとっても使いやすいデザインという意味で、公共のいろいろな場面で必要とされています。そこから避難所運営に興味を持ち、自治会役員、避難所運営委員も引き受けました。いろいろな活動を繋げていきたい。



西東京市避難所運営委員会の一員として（西東京市）
今中友子さん（13期 パルシステム東京）

市役所の公募で申し込み、市長から委嘱される役目です。今は一学期に1回の運営委員会が開催されています。まず、近所の様子をお互いが把握することが大事です。避難所でのペットの問題もあります。養成講座の知識をみんなに伝えていきたい。



今日の活動交流会で得たことを、地域の活動に活かしてください。

交流会進行役 野崎幹事



組員活動の中でのテーマとして防災・減災について取り組み、子どもがひとりである時に被災し、ひとりで1晩過ごさなければならなくなった時の過ごし方、また、実際の対処をクイズ形式で学んでもらい、簡単防災食も知らせています。

組員活動で、子ども向け防災・減災プログラムを作成（コープみらい） 龍澤みどりさん（14期 コープみらい）

参加者のアンケートから

新しい活動のあり方のヒントを得られました！

問題意識を刺激されました。これから何かしようという意欲がわいてきました！

もっと長い時間交流できると良かった。

小さなことでも人さまの役に立てたらよいと受け止めました。

実際に活動している生の声を聞いて参考になりました。

活動交流会で報告を聞き、参加者との話し合いを持ったことで、実際災害が起こってしまったときやその備えのために自分の地域でどのように活動するか等、交流できたことと思います。これから首都東京の防災・減災対策を強めていくためにも、身近な地域等で学びあう機会をつくっていきましょう。